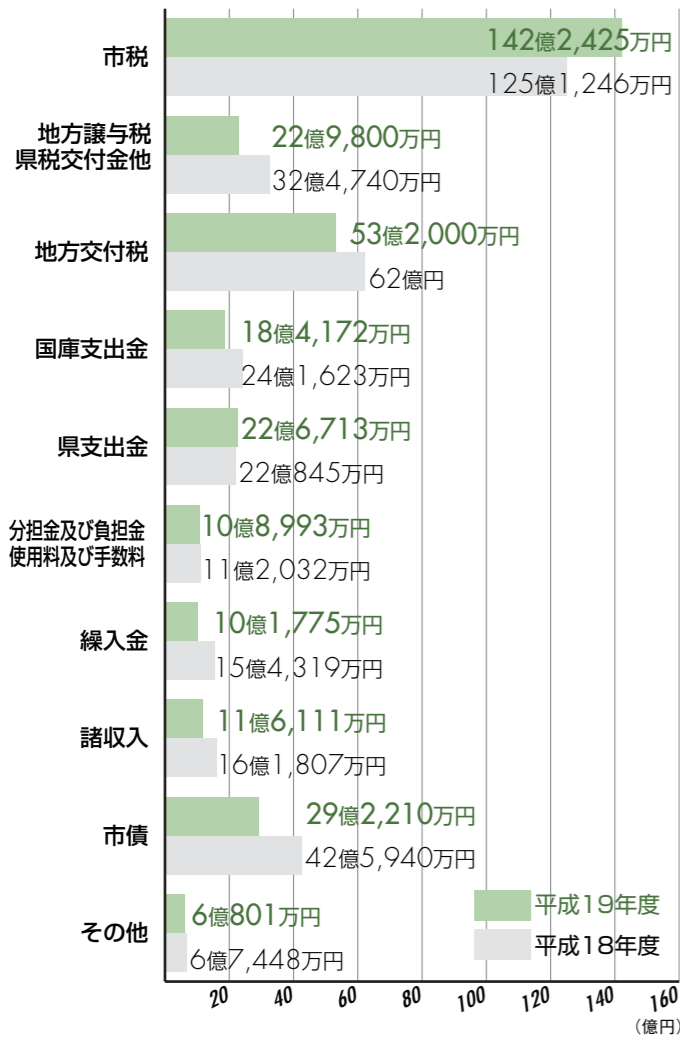
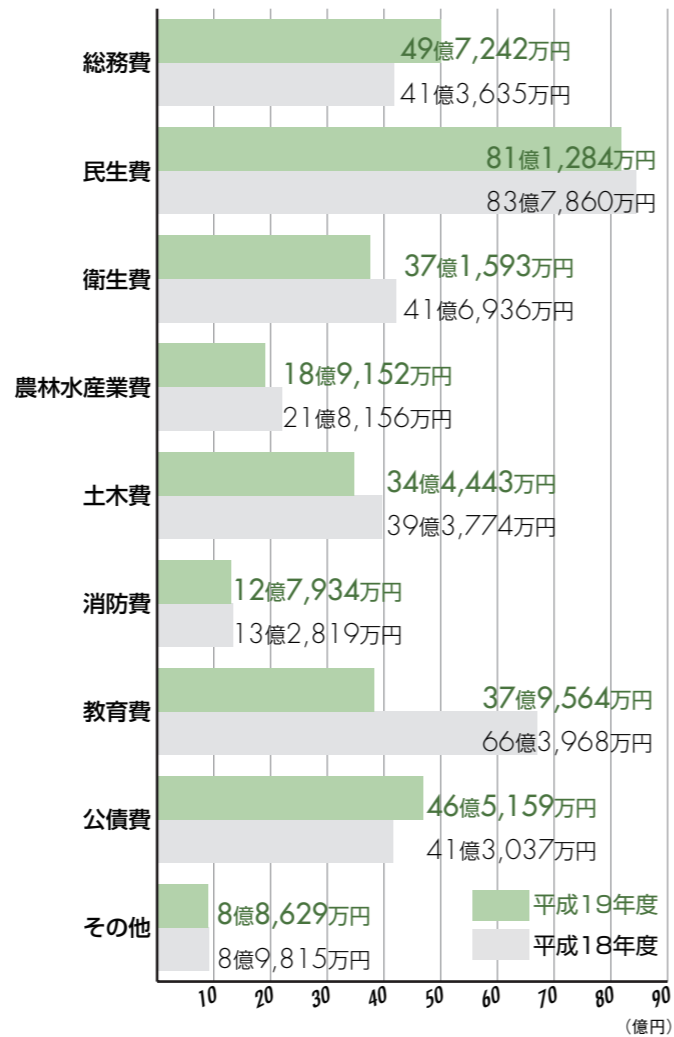


一般会計歳入歳出予算 平成19年度 **327億5,000万円**
平成18年度 **358億**円

歳入



歳出



人自然輝きつづける あい甲賀の 実現をめざして



● 施政方針を述べる中嶋市長

甲賀市でもこのまま平成21年度を迎えると34億円の財源不足が見込まれることから、昨年8月、「行政改革推進計画」財政健全化指針」を策定しました。計画では、予想される財源不足額の解消と平成21年度末における財政調整基金(家庭という貯金20億円以上の確保、プライマリバランス(家庭という借金とその返済額を除いた家計簿の差引)の黒字化をめざしており、その実現のため、財政の健全化に向け取り組みながら、当市の抱える懸案事項や「総合計画」に示す理念・基本計画・目標を実現していかねばなりません。その

市長の施政方針(抜粋)

ため、平成19年度予算は、「より有効に使うための削減」という視点で、施策の集中と選択を図り、歳入に見合った歳出を第一主義に編成したものであり、「負担に値する質の高い小さな地方自治」を確立するため、「始末」をキーワードに、行く末を見越した施策の展開をめざし、明日の筋道をつけるものです。さらには、厳しい時代であるがゆえ、人と人との絆が底流にある様々な素晴らしい資源に恵まれたこの地が、他の市に決して追いつくことなく、自らの個性や潜在力を生かし、新たな時代を切り開くという気概をもって平成19年度の一年を積極果敢に挑戦するものです。私自身、先ずは自らに厳しい姿勢で先頭に立ち、行政評価、人事評価制度など、自助努力によって組織力を高める取り組みに着手しながら、甲賀市という恵まれた土壌に種を播き、丹精して育てた百花の先駆けをめざします。市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成19年度 甲賀市予算

平成19年度の予算が決まりました。本年度は、昨年策定された甲賀市総合計画を受け、本格的なまちづくりがスタートする大切な年です。厳しい財政運営にあっても元気で活力のあるまちづくりを進めるため、また、市の将来像である「人自然輝きつづけるあい甲賀」の実現に向けて、少ない経費で最大の効果を生むための予算編成に努めました。今年の予算をいっしょにお一人に紹介してもらいます。

特別会計・公営企業会計

特別会計	予算額	
	19年度	18年度
国民健康保険	80億1,600万円	68億2,100万円
老人保健医療	79億8,900万円	80億7,600万円
介護保険	41億3,400万円	39億800万円
公共下水道事業	48億1,800万円	65億6,300万円
農業集落排水事業	10億円	9億3,300万円
土地取得事業	1,560万円	1,500万円
野洲川基幹水利施設管理事業	1,818万円	1,173万円
鉄道経営安定対策基金	590万円	747万円
鉄道施設整備基金	4,270万円	35万円
国民健康保険診療所	2,040万円	2,570万円
小計	260億5,978万円	263億6,125万円
病院事業	18億4,616万円	20億1,720万円
水道事業	49億7,917万円	53億7,526万円
小計	68億2,533万円	73億9,246万円
合計	328億8,511万円	337億5,371万円

※企業会計の予算額は、「収益的支出」と「資本的支出」の合算

達人 今年「甲賀市総合計画」が策定されてから初めての予算だからね、これに掲げている目標を実現するためにいろいろな事業が計画されているよ。次のページに目標ごとに行われる事業

達人 うんそうだね。市でも将来に渡って健全な財政運営を進めるため、昨年行政改革推進計画を策定したんだ。その中でも、平成21年度の予算規模は平成17年度決算よりも52億円の節約しなければならないという事になってるんだよ。決して楽観できるものではないと思うよ。

達人 早速難しい話になってしまっけど、三位一体の改革って言う国の方針で、国から入ってくる地方譲与税や地方交付税などの仕組みが変わったことが挙げられるね。それと、最近いろんなところ

達人 うんそうだね。市でも将来に渡って健全な財政運営を進めるため、昨年行政改革推進計画を策定したんだ。その中でも、平成21年度の予算規模は平成17年度決算よりも52億円の節約しなければならないという事になってるんだよ。決して楽観できるものではないと思うよ。

登場人物の紹介

予算の達人
今回も皆さんにお会いできてうれしいです。気合を入れて解説しますね。

広報担当たーちゃん
今年も広報を担当することになりました。よりよい広報づくりに日々精進します。

たーちゃん 達人、ご無沙汰します。またこの時期がやってきましたね。私ももう予算の取材は3回目なんです。がんばって勉強してるつもりなんですけど、今回もいろいろお聞きするんでよろしくお願ひします。

達人 難しい言葉も出てくるけど、でも皆さんに読んでもらえるような記事にするのが広報の役目だから、一緒に頑張りましょう。

たーちゃん はい、じゃあいっぱい質問するのでよろしくお願ひします。

さっき、一般会計の予算書を見ましたが、去年と比べていろんな科目でずいぶん増減がありますよね、これってどういうことなんですか。

達人 早速難しい話になってしまっけど、三位一体の改革って言う国の方針で、国から入ってくる地方譲与税や地方交付税などの仕組みが変わったことが挙げられるね。それと、最近いろんなところ

たーちゃん なるほど、よりよいまちづくりにするには、そのためには、借金をしたりして一度にしようとするのって、後から苦しくなるに決まってるよ。私も以前に自動車とパソコンと液晶テレビを一緒に買ったことあったからよくわかります。これって家の台所事情とまったく一緒ですよ。

達人 うんそうだね。市でも将来に渡って健全な財政運営を進めるため、昨年行政改革推進計画を策定したんだ。その中でも、平成21年度の予算規模は平成17年度決算よりも52億円の節約しなければならないという事になってるんだよ。決して楽観できるものではないと思うよ。

で聞くと、と思うけど、この地方公共団体も非常に厳しい財政状況ってのは知ってるよね。甲賀市も決して裕福とはいえない現状なのは確かだからね。皆さんの貴重な財源だから、より効果的な予算編成を行ってほしい。例えば、18年度と比べてみると、歳入では市の貯金からの繰入金や、借金である市債を抑えたこと。歳出では農林水産業費、土木費、教育費などが大幅に減ったけど、これは去年あった建設事業が終わったことや、これから先のことを考え、抑えるべきところを抑え、徹底した削減を行ったからだよ。